2026年11月12日

各　位

会 社 名　株式会社ティアフォー
代表者名　代表取締役CEO　加藤　真平
（コード番号：593A　東証グロース市場）
問合せ先　取締役EVP / CFO　阪口　聡志
（TEL. 03-4520-2315）

ダンプトラック輸送の自動運転化に向けた
周南バルクターミナル株式会社との協業に関するお知らせ

当社と株式会社トクヤマ（以下「トクヤマ」）の連結子会社である周南バルクターミナル株式会社（以下「周南バルクターミナル」）は、徳山下松港において、トクヤマの協力のもと、自動運転技術を活用したダンプトラックによる輸送業務の自動化に向けて2026年3月より協業を開始し検討を進めてまいりましたが、今般、実証に向けた体制が具体化したため、お知らせいたします。本協業では、2028年中の無人運行の実現を目指します。

記

１．協業の背景

日本の臨海工業地帯の港湾は、アジアをはじめとする世界各国との物流を支えるだけでなく、国内の製造業の基盤を支える原材料やエネルギー資源の集積・輸送を担う広域拠点港として重要な役割を果たしています。また、物流業界では、働き手の高齢化や減少による運転手不足への対応と持続可能な運輸体制の構築が急務となっています。こうした背景から、臨海・港湾エリアの輸送業務においても省人化や自動化を通じた生産性の向上が求められています。

当社は自動運転用オープンソースソフトウェア「Autoware」を活用し、公共交通に加え、建機、農機、工場内搬送車両といった特殊車両への自動運転技術の実装を推進しています。周南バルクターミナルは、山口県の瀬戸内海に面する国際バルク戦略港湾である徳山下松港において、石炭やバイオマスなどのエネルギー資源（バルク貨物）の荷揚げ、保管、搬出を担っています。トクヤマは、それらエネルギー資源を活用し、自家発電設備において電気や蒸気を生み出し、化学品や電子先端材料などの生産に活かしています。

２．協業の概要

本協業では、周南バルクターミナルの保管エリアから、トクヤマの徳山製造所内にある自家発電設備エリアまでのダンプトラック輸送の自動化に取り組みます。当社の自動運転技術開発やその実証・運用における知見と周南バルクターミナルのダンプトラックを用いた輸送の経験を掛け合わせ、トクヤマのエネルギー資源受け入れに伴う現場実務を踏まえながら、有人ダンプトラック輸送への自動運転技術の導入を目指します。また、実際の施設環境に合わせた技術と運用の構築を図り、2028年中の無人運行の実現に向けた開発を推進します。さらに、自動運転車両の燃料には、周南バルクターミナルの株主の1社である出光興産株式会社が供給する次世代バイオ燃料「出光リニューアブルディーゼル（IRD）」を使用し、輸送業務に伴う温室効果

ガス排出量の削減にも取り組みます。
本協業を通じて蓄積する自動運転技術の導入・運用の知見を生かし、今後、単一の輸送ルートの自動化にとどまらず、徳山下松港の周辺地域における類似の輸送業務への展開を検討していきます。

３．提携先の概要

① 名称	周南バルクターミナル株式会社
② 所在地	山口県周南市晴海町8番
③ 代表の役職・氏名	代表取締役社長　横田 範幸
④ 事業内容	主に輸入石炭などの中継備蓄基地
⑤ 資本金	1億5000万円
⑥ 設立年月日	2008年8月12日
⑦ 大株主	株式会社トクヤマ 出光興産株式会社 トクヤマ海陸運送株式会社 日本ゼオン株式会社 周南市 提携先は非公開会社であること及び同社の意向を踏まえ、株式比率の記載を省略しております。
⑧ 当社と当該会社の関係	
（１）資本関係	該当事項はありません
（２）人的関係	該当事項はありません
（３）取引関係	自動運転技術の実証に伴う業務委託等の取引関係があります
（４）関連当事者への該当事項	該当事項はありません
⑨ 当該会社の最近３年間の連結財政状態及び連結経営成績	提携先は非公開会社であること及び同社の意向を踏まえ、記載を省略しております。

４．今後の見通し

本件に伴う2027年９月期の連結業績への影響につきましては、2026年11月13日に公表予定の業績予想に織り込んでおります。なお、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかに公表いたします。

以上